



たぐすい

TAKUSUI

1999 SEPTEMBER No.515

9

●インフォメーション●
考えてみよう人権問題

COLUMN

悪魔の帝王

◆ケシの実から採取するアヘンやモルヒネは、現在使われている最強の鎮痛剤である。未熟なケシの実に浅く傷をつけると、白い汁が滲み出て来る。この汁に不思議な力があり、飲んだ者の痛みを鎮め眠らせてしまう。トルコのアフイオン市近郊で栽培されるケシは、古くからアラビア商人と取引する商品だった。古代ギリシャでは、薬用として「オピオン」と言ったが、アラビア人は「アフイオン」と訛って呼び、シルクロードを旅して異国語が入り交じることで、「アフюн」と変化し、中国で阿芙蓉(あふよう)と漢字が当てられた。タバコに混ぜて吸う風習は、清(しん)の時代に既にあって、阿片(あ

へん)と呼び貴重品として扱われていた。いわゆる麻薬である。◆ケシの栽培は三千年以上も前から行われ、その薬効に発目が集まった。紀元七十七年頃の『薬物誌』に詳細な記録があるという。それには催眠／鎮痛／消炎／鎮咳作用を挙げているが、習慣性については触れていないそうだ。この習慣性こそが問題であった。知っていたのか知らずにいたのか。十六世紀のヨーロッパでアヘンは万能薬として称賛され、そのアヘンからモルヒネが作り出された。その痛みを鎮める素晴らしい効力は、特効薬として病める人には救いの神の如き存在となった。モルヒネから生まれたアヘンの孫っ子にあたるのが「ヘロイン」である。今では麻薬の帝王として闇の中に君臨している。

◆ドイツの薬剤師が作り出したヘロインは、麻薬密造／密輸団の暗躍によって全世界に広まり、アメリカでは麻薬禍に苦しむことになる。日本でも大量の持ち込みに手を焼き、水際の防戦に必死であるが、不審な動きをする船舶や乗組員には警戒の目を怠らぬことである。トルコの博物館で展示されている石棺には、恐ろしい形相をしたメドウサが彫られているように、ケシの実が彫刻されている。埋葬者の守護という意味もあるが、魔をもって魔を制すというところなのか。ケシの美しさは格別というが、花の栽培は厳禁とされ一般の花園で見ることが出来ない。その美花の向こうに不気味な悪魔の笑いが感じられるのである。(遊方子)

拓水 SEPTEMBER CONTENTS

COLUMN	悪魔の帝王	2
ズーム	淡路・海のフェスタ99 洲本市炬口海水浴場で開催ノ	3
TOPICS	「コープマリンスクール」を開催ノ 兵庫県漁青連／漁婦連の新役員について 兵庫県漁連部署配置図	4
インフォメーション	考えてみよう人権問題	6
水試ノート	但馬沿岸域のヒラメ資源について	7
栽培漁業センターです		8
海区漁業調整委員会だより 普及員だより	粗放的中間育成について	9
旬の美味しい話	エビクルトン	10
兵庫JCC通信	摂津地区9JA合併予備契約書を締結 来年4月新生「JA兵庫六甲」「JAみのり」誕生 99市民平和行進 核兵器と戦争のない平和な世界へ	
巻末 essay	島について考える	11
季節の香	月下美人が咲きました…	
こちら海ですロケだより	夏の思い出〈海の日〉KOBE ～神戸市より～	

「拓水」は漁協と漁協系統団体を結ぶコミュニケーションの場です。報知したいこと、文芸など。皆さんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

今月の表紙

フォトギャラリー

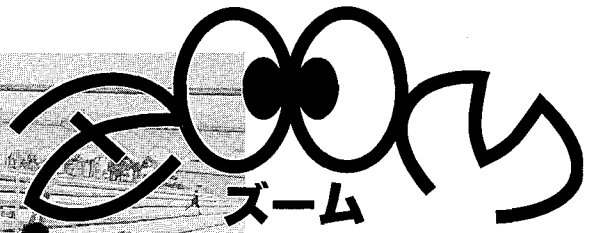


表紙写真
星尾 国弘さん
〈県漁青連〉

フォト歳時記

森へつづく道

こんもりとした森を目指して走りこんだ。朝から小雨を承知で山麓までやって来たが、少し濡れた荷物やカメラを気にしつつ、今日の夜営地に至った。そこは樹々の重なる小高いところ。天幕を張る。キャンプを囲み遅くまで話したが弾んだ。山の花のこと鳥たちのこと、そして森の未来のこと。夜更けて雨は強くなり、未明に上がった。緑の濃淡が賑やかに、陽のあたるところは輝いて明るくなる。森へつづく道で、鳥の囀りを聞いた。それは警戒色を帯び、遠く近くいつまでも鳴き交わっている。物憂い屋下がり。蜘蛛(ひぐらし)の哀調ある声に送られて、足早に夏が去って行くようだ。



淡路・海のフェスタ99

洲本市炬口海水浴場で開催!

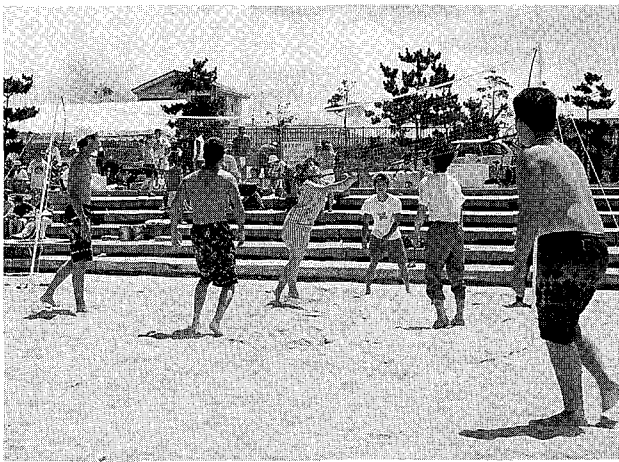
淡路地区漁協青壮年部連合会



バーベキューで会話ははずみ...

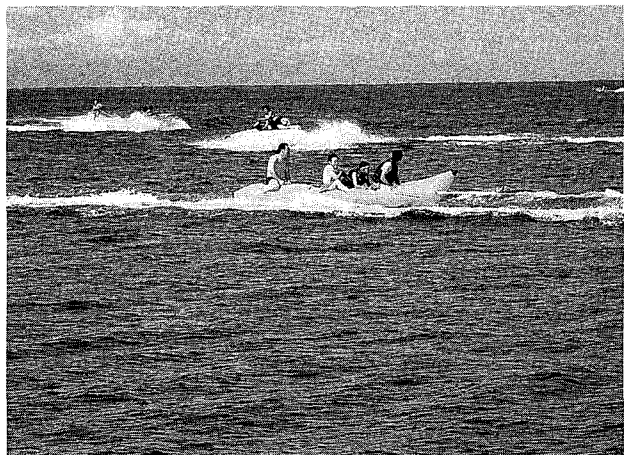
淡路地区漁協青壮年部連合会が主催する「淡路・海のフェスタ99」が、去る七月二十四日(土)に洲本市炬口海水浴場で開催された。当日は天候に恵まれ、淡路地区漁連の会員から約五十名と島内外の独身女性約四十名が浜辺に集いました。照りつける夏の日差しのもと、成瀬淡路地区漁青連会長の開会の挨拶のあと、開催にあたり協力を頂いた炬口住民会の西村会長から挨拶を頂きました。さて内容ですが、今年には女性参加者にもっと海や魚に親しんで貰おうと用意したのが「地曳網」で、生きの良い魚に触れて貰うのが目的です。土曜日ということもあり一般の海水浴客も交じって、ワイワイと言いな

ビーチバレーを楽しむ



ら網を引っ張り交流を深めて頂きました。網にはタコ、イカ、キスをはじめ新鮮な魚が入り、中には毒のある魚等もいて、青壮年部員が女性参加者にやさしく教える場面もありました。続いてバーベキューを行い、肉や野菜のほか、由良町漁協連合会から提供されたサザエやアワビ、淡路の各漁協から持ち寄った新鮮な魚介類が振る舞われました。また、地曳網で獲れた魚等も調理され、飛び切りの新鮮さに舌鼓を打ちながら会話の花が咲きました。アトラクションには、女性に人気のあるジェットスキーが十台近く用意され、試乗

待ちの長い列が出るほど人気を攫っていました。その他に、モーターボート、バナナボート、ビーチバレーのコート、スイカ割り等が用意され、それぞれが好みに応じて参加し、和気藹々の雰囲気の中で、参加者同志の交流が進みました。また、今年も地元のDJの方によるBGMが流れ、フリーマーケットの出店が並んでイベントに花を添えていましたが、南風の吹く中であちらこちらにツーショットの姿も見られました。さて、この日の結果ですが...。例年同様、この「フェスタ99」が結びの神となつて、多くのカップルに幸せになつて欲しいとの願いを込めたイベントであり、この日の出会いから幸せなカップルの誕生することを祈っているしだいでもあります。



バナナボート・ジェットスキーで海上を走る

協同組合間提携事業

「コープマリン スクール」を開催！

— 明石浦・神戸市 各漁協にて —



汗だくになっての塩づくり（神戸市漁協）

恒例となっているコープマリンスクールを、去る七月二十二日から二十四日に明石浦漁協、また八月五日から七日に神



料理教室でタコを…（明石浦漁協）

戸市漁協において開催しました。このコープマリンスクールは、コープこうべと協同組合間提携事業として実施されているもので、今回で明石浦漁協コースは十六回目、神戸市漁協コースは十七回目となります。

両コースとも料理教室を開講し、明石浦漁協では漁協職員を講師として、神戸市漁協では県漁連職員を講師に実施しました。どちらのコースも、タコの墨抜き・塩揉み・湯がき方やアジのおろし方の、

基本を中心にコツを押さえ実演しながら

の解説を行いました。料理講習のほか、明石浦漁協では明石浦の漁業についてクイズを交えながら楽しく学習し、神戸市漁協コースでは、マリンピア神戸に移動しヒラメの稚魚・アワビ稚貝の放流や塩づくりの実習、ビンゴゲームでは付近で漁獲できる魚の名前によって楽しみました。また漢字のクイズや水産業について親しんで貰いました。また、両コースとも昼食の前に昼食を見学し、参加者の目の前で威勢よく行われるセリや、次々にさばかれていく活魚など、勢いのある仲買人の動きなどに少々驚いている様子でした。

そして昼食の手巻き寿司を頂き、午後にはメイン行事の「魚のつかみ取り大会」になると、虹っ子たちは大はしゃぎで、



ヒラメ稚魚の放流（神戸市漁協）

いました。水槽の外ではお父さん、お母さんも必死で声援を送るなど、水槽を挟み中も外も大奮闘、あちらでもこちらでも歓声かまがりました。つかみ取りは約三十分ですが、親子揃って満足そうに笑みを浮かべていました。終了式で書いて貰った感想文・アンケートでは「とても面白かった、また来年も参加したい」など、嬉しい声が沢山ありました。



魚のつかみ取り（神戸市漁協）

中にはタコが怖いと泣きそうになる子や、物おじせずに喜々として沢山のタコを捕まえるなど、水槽に放されたタイやペラを追って、子供らの表情は生き生きして

☆漁船海難遺児育英会
募金状況☆

(～11年8月)

- 8月6日 洲本漁協様 (募金箱)
- 8月11日 畑中 勉様 (香住町漁協)
- 8月18日 県漁連様 (海難遺児募金箱)

☆善意をありがとう
ございました☆

子供たちにとって、楽しい夏休みの一日を提供することが出来て、水産業のイメージアップが図れたものと思われます。今後もこの協同組合間提携の共同事業の一環として、こうしたイベントの継続されることを望まれます。



タコをつかまえたヨ (明石浦漁協)

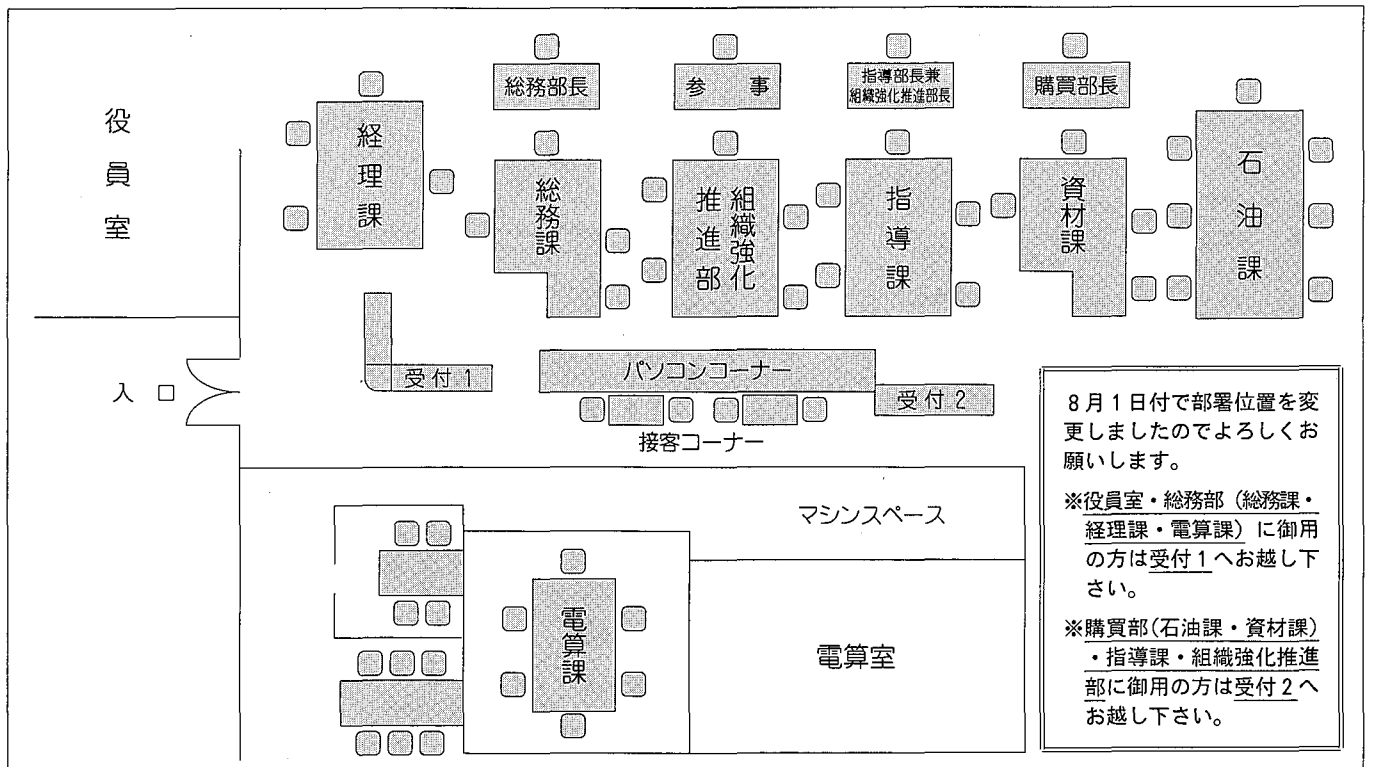
兵庫県漁青連／漁婦連の新役員について

8月号紙上で既報の漁青連／漁婦連通常総会において決定した新規役員は以下のとおりです。(敬称略)

〈漁青連〉				〈漁婦連〉			
役職名	氏名	所属漁協		役職名	氏名	所属漁協	
会長	成瀬 知和	炬口		会長	大里 千枝子	西二見	
副会長	上川 谷正	坊勢		副会長	前田 まつ子	神戸市	
副会長	川崎 美久	香住町		副会長	森村 武美	福良	
理事	辻 久博	神戸市(新任)		理事	北本 多瑞	香住町	
理事	早川 博邦	伊保		理事	須賀 満子	室津	
理事	星尾 国広	白浜		理事	木村 悦子	東由良町	
理事	武田 福太郎	由良町中央(新任)		理事	加藤 千鶴子	淡路町(新任)	
理事	川野 亮一	東由良町		理事	糸谷 敏子	浜坂町(新任)	
理事	相田 村一	仮屋(新任)		監事	高須 瞳	兵庫	
理事	木村 秀拓	淡路町		監事	平石 きょう子	伊保(新任)	
理事	高木 文治	浅野浦		監事	三門 順子	湊(新任)	
理事	木下 満一	津居山港				津居山港(新任)	
理事	今木 公孝	浜坂町(新任)					
監事	磯小 幸	室津(新任)					
		富島					

兵庫県漁連部署配置図

(平成11年8月1日現在)



8月1日付で部署位置を変更しましたのでよろしくお願ひします。

※役員室・総務部(総務課・経理課・電算課)に御用の方は受付1へお越し下さい。

※購買部(石油課・資材課)・指導課・組織強化推進部に御用の方は受付2へお越し下さい。

差別を知ると見えてくる 人権問題の解消に向けて！

21世紀は「人権の世紀」と呼ばれています。世界人権宣言は1948年（昭和23年）に国連で採択されました。それから半世紀になりますが、今の日本には、未ださまざまな人権問題が存在しています。同和問題の今後の課題である「心理的差別」も人権問題です。その他にも、現在の私たちの生活の中で、一体どのような人権問題があるのか簡単に触れてみましょう。

インフォメーション



女性の問題

二〇〇〇年までの行動計画として策定された「男女共同参画二〇〇〇年プラン」を踏まえた各種の取り組みが推進されていますが、核家族化、長時間労働、食住分離の傾向など社会事情による女性の社会進出の壁を取り除くとともに、育児休業制度の充実、介護休業制度の導入、学校における家庭科の男女共修など、さまざまな面での制度の見直し。妻に対する夫の暴力、セクシャルハラスメントも最近の課題となっています。

子供の問題

基本的人権の尊重を基本理念に掲げる日本国憲法及びこれに基づく教育基本法、児童福祉法などの法令並びに国際人権規約、児童の権利に関する条約等の国際条約の趣旨に沿って、関係機関、民間団体、家庭等、社会全体が一体となって相互に連携を図りながら、幼児・児童・生徒の人権の尊重及び保護に向けた取り組みが推進されています。いじめ・体罰・不登校・児童虐待などが主な課題となります。

障害者の問題

障害者のライフステージの全ての段階において、全人的復権を目指すリハビリテーションの理念と、障害者が障害のない人と同等に生活し活動する社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念の下での各種の施策の推進が必要です。

同和問題について

◇どうして差別が生まれたのか。「つくられた差別」について、昨年の「拓水5月号（499号）」に掲載しましたが、江戸時代の体制維持のために作られた身分制度から始まったことなのです。多くは町や村はずれ、川のほとりや排水の悪い湿地帯など環境条件の劣悪なところに強制的に住まわされ、職業についても、皮革関係や竹細工、町や村の警備、犯罪容疑者の逮捕などに限られていました。江戸から明治政府になり、1871年（明治4年）に「解放令」が發布されましたが、差別はなくなりません。1922年（大正11年）に「全国水平社」が結成され、自主的な解放運動が始まり、不当な部落差別をなくすため、人権に対する知識や自覚を促すなどの啓発活動が行われてきました。

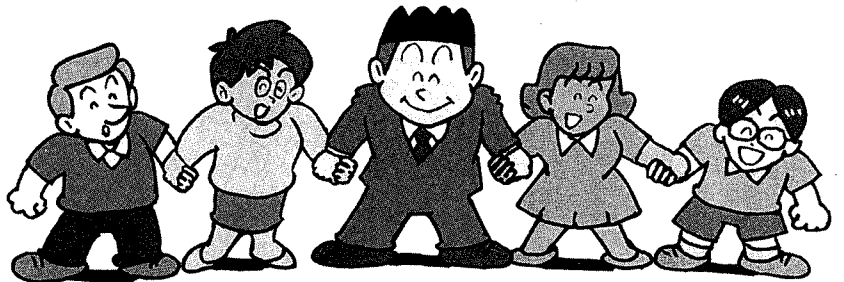
◇物的には、同和問題の解決を目指す「同和对策事業特別措置法」などにより、国や地方公共団体が中心になって基盤整備が進められ、生活環境の改善等はほぼ完了するなど着実に成果をあげてきました。さまざまな面で較差は大きく改善されてきました。しかし、今も差別意識は厳然と残っており、例えば結婚問題、就職問題では、あってはならない差別が依然と根づよく存在しています。この「心理的差別」解消のため同和問題を人権問題の重要な柱として捉え、「人権尊重の意識を高めることが重要」で、人権教育・人権啓発の課題のひとつとして取り組まなければなりません。大切なのは、私たちの意識改革にあります。

◆差別はなくすことが出来る！それには国や企業ばかりでなく、一人ひとりの人権感覚が重要なのです。人権意識の芽を育てましょう。これからは人権の話も暮らしの中へ…。みんながくつろぐリビングの話題にして、一人ひとりが自分のこととして、人権を見つめ直しましょう！それが差別のない地域社会を築く一歩となるのです。

◆相談窓口：神戸地方方法務局人権擁護課
神戸市中央区波止場町1-1
神戸第2地方合同庁舎
TEL 078-392-1821

（人権教育啓発センター監修の冊子から抜粋／編集）

差別を無くすることは難しくない



まず相手の身になって考えることです

高齢者の問題

高齢者が安心して自立した生活を送れるよう支援するとともに、高齢者がそれぞれの経験と能力を活かし、高齢者社会を支える重要な一員として各種の社会的な活動に積極的に参加できるための条件の整備が必要です。

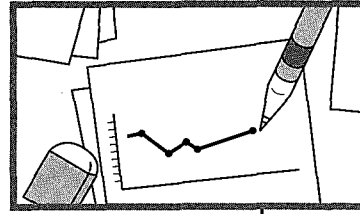
アイヌの人々の問題

アイヌの人々の民族としての歴史、文化、伝統及び現状についての理解と認識を深め、その人権を尊重していくことが重要であり、その観点から各施策の取り組みが必要です。特にアイヌ文化の振興並びに伝統等に関する国民に対する知識の普及および啓発を図るための施策。教育推進のための教員の研修の充実。各高等教育機関等における教育研究の取り組みへの配慮。

その他 外国人・HIV感染者等

刑を終えて出所した人等の問題
偏見や差別を除去する啓発活動の実施が必要です。

水試 NOTE



但馬沿岸域のヒラメ資源について

但馬水産事務所試験研究室 五利江 重昭

平成八年度から始まった、但馬沿岸域のヒラメの資源生態調査も、だんだんと佳境に入ってきました。推定精度の問題はありますが、今ではヒラメの資源尾数を推定することができるところまでできています。今回は資源尾数の推定結果について書きますので、これから導き出される資源管理方針について、考えていただければと思います。

但馬の漁業は沖合底曳網漁業が主体で、平成十年の漁獲統計によれば、定置網・本釣り・刺網などの沿岸漁業生産額(いか釣りを除く)は、但馬全体の八%程度となっています。しかし、ヒラメの漁獲金額が沿岸漁業の漁獲金額に占める割合は六%と、依然沿岸域の高級魚として重要な漁獲対象資源になっているといえるでしょう。

ヒラメの漁獲量は、平成四年から減少に転じました(図1)。平成十年の漁獲量および漁獲金額は、それぞれ約十二トン(前年比七二%)、五千二百万円(同六七%)であり、依然減少傾向が続いています。平成三年以降の漁獲量の急増は、各漁協に活魚水槽が整備された時期と

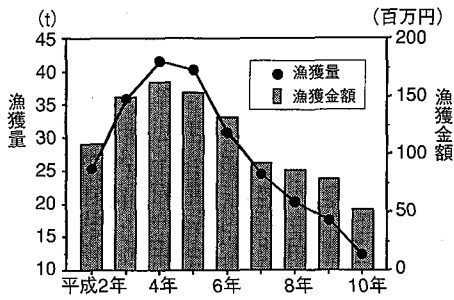


図1 ヒラメの漁獲量および漁獲金額の推移

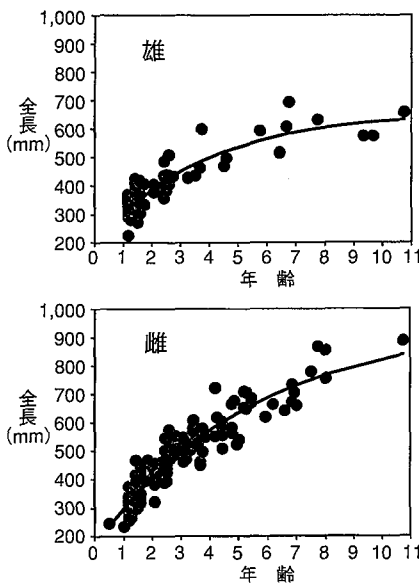


図2 雄雌別の年齢-全長関係

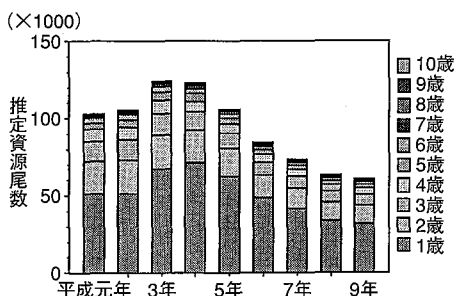


図3 年齢別推定資源尾数の推移

ほぼ一致しており、活魚出荷による魚価の上昇がヒラメへの漁獲圧の増大をもたらしただけではないかと考えられます。したがって、平成五年以降にヒラメの漁獲量が減少したのは、特に平成三〜六年頃の漁獲量が多かつたことが(いわゆる獲り過ぎ)、大きな原因になっているのではないかと考えるのが素直なところでしょう。

平成六年以降の漁獲量の減少にともない、ヒラメに対する資源管理の必要性の気運が高まってきたでしょう。このため但馬水産事務所では、平成八年度からヒラメを資源管理の対象種として選定し、ヒラメ資源管理方針を策定するための調査を開始しました。一般的な資源管理方針としては、漁獲全長の制限、漁期・漁場の制限、漁具の改良などがあげられますが、漁獲実態、資源尾数や年齢組成、漁獲率、自然死亡率などの現状をできるだけ正確に把握することができれば、最適な資源管理方針は自ずと明らか

かになってくると考えられます。さて、ヒラメの資源量を推定するために必要な情報が、大きく分けて三つあります。一つは月別・漁法別のヒラメの漁獲量です。それも単年度ではなく、少なくともヒラメの寿命(但馬沿岸域では雌雄とも十一歳ぐらい)程度は必要です。できるだけ長い期間の統計資料がある方がいいことは、いうまでもありません。二つ目は季節別・雌雄別の漁獲物全長組成です。そして三つ目は、年齢と成長・成熟、全長・体重関係です。もちろんこれだけで大丈夫というわけではありませんが、重要なところとしては以上でしょう。図2に雌雄別の年齢-全長関係(成長式)を示しました。雌雄とも満二歳で全長約三十七センチ、満二歳で約四十七センチになることがわかります。よく知られているように、満二歳以降になると、雌の成長が早くなります。全長五十一センチのヒラメを指さして、こ

これは雌だ!というのと、正解率は約七〇%、全長七十センチを超えると、ほぼ一〇〇%が雌でしょう。

先に示した三つの情報の他、性比は一:一、産卵月は四月、毎年五月になると歳をとるといふ風に考えていつて年齢別の漁獲尾数を推定し、コホート解析(なにやら難しい響きですが、実は単純な辛づる計算)を適用すると、あら不思議、年齢別の資源尾数が計算されます。(図3)。

平成二年前後は本格的なヒラメの活魚出荷が始まり、活魚出荷にともなう魚価の上昇が、ヒラメに対する漁獲圧を二気に増加させたことと推定される時期です。漁獲量の推移を見ますと(図1)、ヒラメの漁獲量が急増したのは平成三年で、漁獲圧の増加はこの年を境に変化した可能性が高いと考えられます。平成四年は、満一歳までの生残率が低かったことに加え、産卵親魚群に対する漁獲圧の急激な増加が、成長乱獲(小型魚の獲り過ぎ)に加えて加入乱獲(親魚の獲り過ぎ)を引き起こし、最初に想像したような平成五年以降の漁獲量の減少につながったと考えられます。このため、現在のヒラメ資源量が昭和六十年代に比べ、激減していることは明らかでしょう。

以上のことから、但馬沿岸域のヒラメ資源の現状を、次のように評価しました。

(一)一歳魚の漁獲率が高く、明らかに成長乱獲である。

(二)二歳魚以上の漁獲率は、適正と判断される。

(三)親魚量が減っており、乱獲状態である。

(四)平成四年以降に急激な加入乱獲が進み、現在の資源水準は非常に低い。

これらのことを考えると、資源管理方針は自ずから見えてくるのではないのでしょうか。ちなみに、平成十一年漁期当初の但馬沿岸域で漁獲対象となる一歳以上のヒラメの資源尾数は約四万八千尾、資源重量は約四十三トンと推定されます。

HYOGO PREF. MARICULTURE CENTER

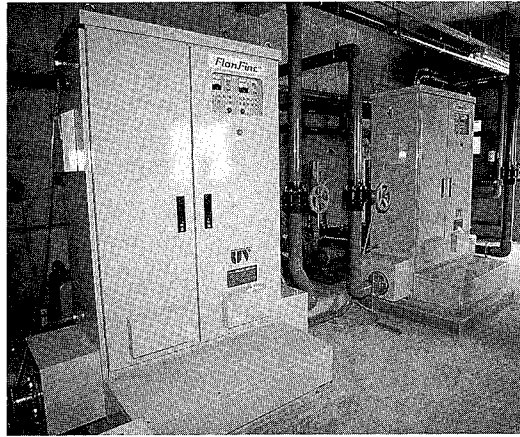


栽培漁業センターです

132

◆クルマエビ種苗生産における紫外線殺菌のこと◆

夏雲が湧き立つ八月六日、津名事業場では一回目のクルマエビ種苗生産が終了し、それと同時に県内産親エビによる二回目の生産が始まりました。



新たに導入した紫外線殺菌装置

気を配らなければならないのが、病気の原因となる微生物をいかに阻止するかという事です。津名事業場ではこの病原微生物対策のひとつとして、使用する海水の紫外線殺菌を行っています。

通常、海から汲み上げた海水は、砂濾過してゴミなどを取り除いた後使用されます。しかし、砂濾過装置を通しただけの海水には除去することができない微小な生物が存在しています。そのような海水をそのまま水槽に入れると、病原体微生物まで取り込んでしまい、時によっては大量斃死を招くことになりかねません。例えばクルマエビの真菌症があります。幼生は生まれてから十日間位真菌症にかかりやすく、その時その原因となる真菌胞子が混入していると幼生の体内に入り込んで、放っておくと幼生は次々と死んでしまいます。そこでこの胞子を含め細菌、ウイルスなどの病原体微生物が水槽に入る前に殺してしまおうと紫外線殺菌が用いられます。

今年六月、津名事業場では新たに大型

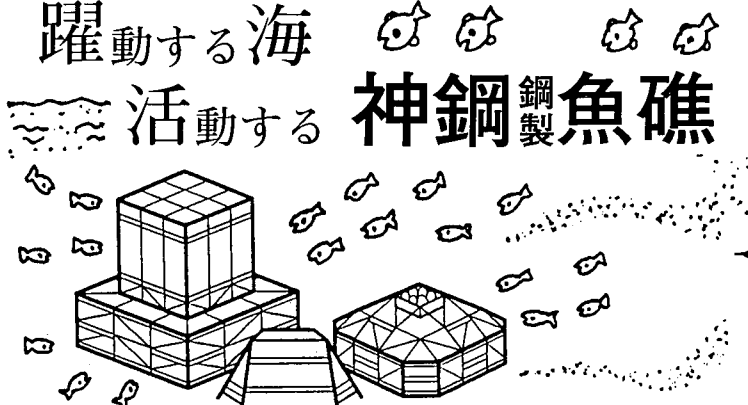
紫外線殺菌装置を導入しました。これまでも紫外線殺菌装置は使っていたのですが、処理水量が少ないため使用水量に制限がありました。今回の装置導入では使用水量のほとんどをカバーできるようになり、疾病予防における大きな向上となっています。

さて、他事業場の様子ですが、二見の兵庫県栽培センターではガザミの種苗生産が継続中で、オニオコゼ稚魚一万尾の中間育成試験が始まりました。香住の但馬栽培漁業センターではサザエ稚貝が平板飼育に入りました。また、但馬では親魚飼育施設の増設工事を行っています。

クルマエビに限らず種苗生産では飼育水槽、用具、作業者の手や長靴、飼料生物の消毒、親魚のチェック、卵の薬浴など魚種によっていくらかの違いはあるものの紫外線殺菌以外にも病原体の侵入を防ぐ様々な努力がなされています。

(兵裁協 為後 智康)

躍動する海 活動する 鋼製魚礁



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46-1
 大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6-17(大阪神鋼ビル)

海洋製品室 TEL (06) 6206-7440
 FAX (06) 6222-4904

海区漁業調整 委員会だより

七月二十一日

兵庫県瀬戸内海海区漁業
調整委員会委員協議会を
兵庫県中央労働センター
で開催

一、漁業管理制度検討作業部会
の検討結果の取りまとめ(案)
について

水産庁が設置している漁業
管理制度検討作業部会が平成
九年十一月以降検討してきた
結果の取りまとめについて、
事務局から説明を行い、その
後意見交換を行った。

七月二十二日
第四百二回但馬海区漁業
調整委員会及び委員協議
会を但馬水産事務所会議
室で開催

(委員会議事)
一、小型機船底びき網漁業(手

線第一種漁業)の許認可取扱
方針について

従前どおりの内容で諮問が
なされ、審議の結果、原案ど
おり定めて差し支えない旨の
答申を議決。

二、せん漁業(べにずわいがに
かご漁業)の許認可取扱方針
について

従前どおりの内容で諮問が
なされ、審議の結果、原案ど
おり定めて差し支えない旨の
答申を議決。

(委員協議会議事)

三、全漁調連日本海ブロック会
議の提案議題について

提案内容について協議の結
果、「日韓漁業暫定水域等に
おける漁業秩序の早期確立に
ついて」という議題で提案す
ることを決定。

四、水ガニの資源管理について
水ガニについて色々な管理
を行ったときの効果に関する
シミュレーション結果等につ
いて報告がなされた後、関連
の意見交換がなされた。



粗放的中間育成に ついて

皆さん、粗放的中間育成という言葉に耳にしたことがあるでしょうか。浜坂町三尾地区で行われているマダイの中間育成方法、漁港の入口を仕切網で仕切り、漁港全体を育成場として利用した中間育成方法といえればピンとくる方も多いと思います。

但馬地域では、平成8年から浜坂町三尾漁港(小三尾湾)でマダイの粗放的中間育成を実施してきましたが、平成11年からは竹野町竹野新港でも取り組まれています。さらに、マダイの粗放的中間育成の手法を他魚種に応用しようと、豊岡市田結漁港、竹野町竹野新港と香住町久津井湾では、ヒラメの粗放的中間育成も試みられる等、但馬における魚類の中間育成は粗放的な方法が主流となりつつあります。

なぜ、粗放的中間育成なのでしょう。

それは、従来の海上小割網等を使った中間育成に比べて、より野性に近い生態を持った種苗を育成することができるからです。

従来の方法で育てられる種苗は外敵に襲われることもなく、エサも十分与えられるため、何不自由なく育てられています。一方、粗放的な方法では仕切網により保護されているとはいえ、育成場内には外敵も存在しており、いつ襲われるかわかりません。エサも十分な量を与えられないので、自分で天然のエサ生物を捕らなければなりません。このような厳しい環境で育てられるため、逞しい種苗が育ちます。例えるなら、前者が温室育ちのほんぽんにお嬢様、後者が叩き上げの野性児といったところですよ。

弱肉強食の自然界を生き残り、漁獲サイズまで育つ確立が高いのは、ほんぽんではなく野性児だと思います。

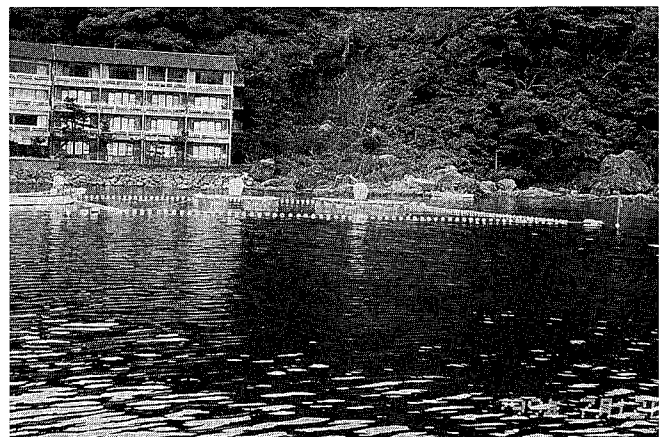
実際、平成10年10月～12月に実施した試験操業では、粗放的に育てられた平成8年群以降(0～1歳魚)のマダイの混獲率が海上小割網で育てられた平成7年群以前(2～3歳魚)のマダイの混獲率に比べて著しく高くなっています。

今後も調査を行い、効果を把握していく必要がありますが、粗放的中間育成は従前の方法よりも高い放流効果が期待できそうです。

これまでの中間育成は、何匹放流したか、どれだけ大きくしたかといったことばかりに着目されていたように思いますが、今後は、育て方について考える必要があるように思われます。(但馬水産事務所 南山 卓範)

表 平成10年度試験操業における
放流マダイの年齢別混獲率

年 齢 (歳)	0	1	2	3 ≤
採 捕 数 (尾)	77	452	120	59
うち放流マダイ (尾)	6	38	7	2
混 獲 率 (%)	12.18	14.01	6.63	4.39



竹野新港内に設置されたマダイ中間育成施設

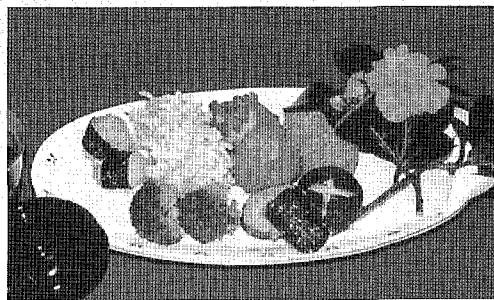
◆材料・分量◆

えび……………100g
 鶏ささみ……………100g
 食パン……………4枚
 油

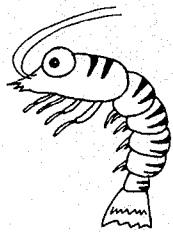
調味料A

酒……………小さじ2
 水……………25cc
 卵白……………半個分
 かたくり粉・塩・こしょう……………適量

●エビクルトン●



摂津地区漁協婦人部連合会刊「こうべのお魚料理」から

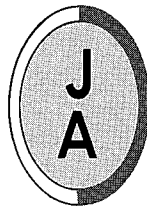


- ▼作り方▲
- ①エビは殻と背わたを取り、出刃包丁でたたき、すり鉢でする。
 - ②鶏ささ身も同様にする。
 - ③調味料Aを混ぜ合わせ、5cmぐらいのボールにする。
 - ④5mm角に切った食パンをまわりにつけ、油でからりと揚げる。山椒、塩でいただきます。(はるさめ、こまのりを使ってもよい)

旬の美味しい話 ⑦5



兵庫JCC通信
 今、JA・生協では



'99市民平和行進
 核兵器と戦争のない平和な世界へ

今年も、照りつける太陽の下、兵庫県内では七月七日(水)～十六日(金)の十日間、核兵器の廃絶と平和な世界を訴えながら、約三千百人の生協組合員、役員、市民らが平和行進を行いました。

七日(水)には、二カ月前に東京・夢の島を出発した行進団が、大阪府との引継地点である川西市役所前に到着。引継集会の後、若さと元気あふれる通し行進者たちとともに行進に出発しました。

今年の行進は、一時的に雨の日もありましたが、総じて晴天が続き、暑さの中、沿道、商店街などの市民や学校帰りの子どもたちにも平和を訴えて歩きました。

行進の先導車、伴走車の運転、アナウンス、休憩所の提供などを、コープこうべのほか、生協都市生活、宝塚、阪神、尼崎、灘、神戸、姫路の各医療生協が行い、県内通し行進にはコープこうべの若い職員が参加しました。

また、十日(土)には、コープこうべ・生活

摂津地区9JA合併予備契約書を締結
 来年4月新生「JA兵庫六甲」「JAみのり」誕生



合併予備契約書に調印する摂津地区9JAの組合長

【阪神間にある摂津地区の9JAは七月二十日「兵庫六甲農業協同組合」を発足させるための合併予備契約を締結しました。調印式には合併する神戸市西、神戸市北、さんだ、宝塚、川西市、いながわ、にしのみや、いたみ、尼崎市の各JAの組合長と立会人の市町長など行政関係者を含む三百三十名が出席しました。十一月に各JAが総会を開いて組合員の最終的な承認を得ると、平成十二年四月にはJA兵庫六甲が誕生します。

調印式では、摂津地区JAの合併推進委員会の東元庄二委員長(JA

神戸市北組(組合長)が「多様化する組合員のニーズに対応し、JAの役割を果たすには、広域化だけではなく合理化など事業の質の変換も必要。合併によって高度で専門化したサービスを組合員に提供していきたい」とあいさつしました。

次に、合併に向けた経過報告と予備契約書の朗読が行われ、引き続き七市一町の首長などの立ち会いのもと、九JAの組合長が予備契約書に署名を行いました。

新生「JA兵庫六甲」では、①農業振興と環境保全②くらしと文化の創造③環境とまちづくり④経営と組織運営を重点事項に、都市近郊で協同活動の強化を目指すことにしています。

ひょうごのJAグループでは、二〇〇一年を目途に県内七JA体制の構想を設定し、その実現に向けて準備をすすめています。八月五日には東播北部地区の七JAも合併予備契約(「JAみのり」)の調印が行われ、今回の「JA兵庫六甲」と共に、本年四月に誕生した「JA兵庫南」に続く合併構想二番目のケースになります。二十一世紀を直前に控え、新しい事業機能を有したJAがまたひとつ誕生しようとしています。

文化センターでの「平和のつどい」が開かれ、今年初の企画として、「こども平和トーク」が行われました。国際子ども権利センターの浜田進士氏を講師に、舞台上の小中学生たちに、平和についての問いかけをし、子どもたちから率直な意見が出され好評を得ました。

十日間に及ぶ行進の間、十六の通過自治体から激励のメッセージをいただき、また、賛助金として八市一町一市議会一団体から合計七万五千円のカンパをいただきました。

このお金は、沿道カンパ七千円とあわせて平和行進の費用の一部に充てさせていただきます。



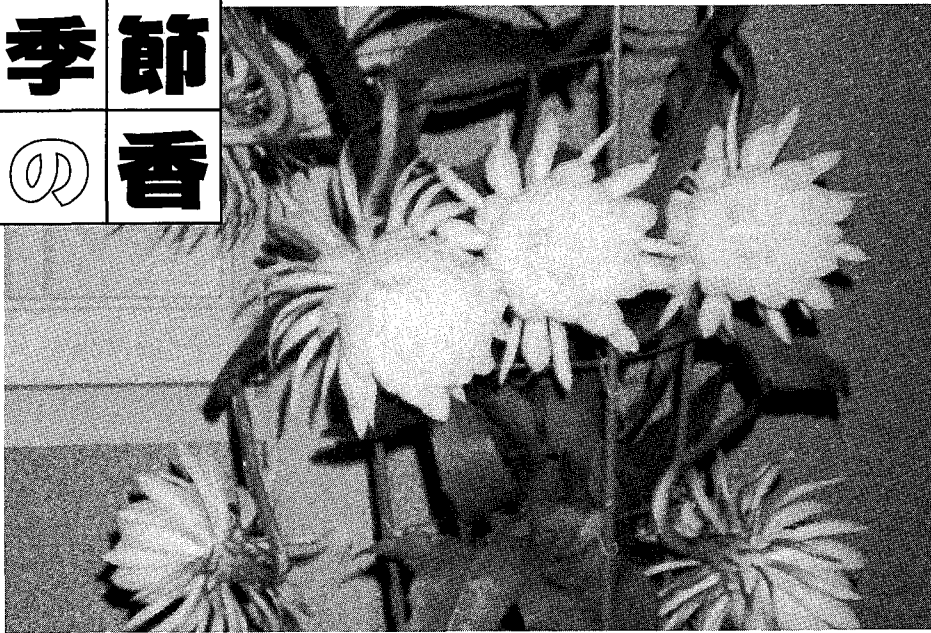
島について考える

◆広辞苑で「縞(しま)」の項を索くと、島という字も同じ意とある。本来、シマと

は縞模様の織物のことで、二種類の色糸を使い縦または横に筋を表した織物が島(しま)であり、それに

縞(しろぎす)を当て字したらしいが、縞イコール島となつた経緯は、南蛮渡来の品物を「島物(しまもの)」と呼んだことから、その辺りの名残りだろうと言われている。縦横に筋の入った格子縞(こうしじま)や、太い筋に細い筋を添わせた子持縞(こもちじま)等は、小粋な感じもあって模様として好感がもてる。力強い弁慶縞(べんけいじま)や複雑なよろけ縞もある。棒縞はトラを思わせ、関西の野球ファンにお馴染みのものである。

季節 の香



◆月下美人が咲きました…

撮影：矢野 善久さん(県漁連)

◆日本の国は、大小六千八百五十余の島々から成り立っており、

北海道・本州・四国・九州・沖縄本島を除く六千八百四十七島が「離島」で、四百三十二島が有人離島だという。四方を海に囲まれた自然条件で、飛行機に乗り上空から見れば確かに海上に浮かぶ島だと判るが、私などは島に住んでいるという感覚はあまりないのである。「島国根性」と視野の狭さが指摘されることもあるが、それは周囲を海に遮断されている為、考え方が閉鎖的に陥りがちということだろう。だが、広く大きな陸地でも地球上のデカイ島なのだ。見聞の狭さを嘲って、井蛙(せいあ)という熟語もあるけれど、井の中に住む事も下らぬ世間の醜態を見ないで済む一法ではあるまいか。広く世間を見るのも大切だが、足下を見つめ直すのも重要なことと思うのである。

◆水に囲まれた陸地が通常の島の意だが、海や水のない内陸においても、古くから一纏まりの景観が「シマ」と呼ばれた。「シマ」は占めるという意味で勢力範囲を表し、縄張をいう言葉でもあり、沖縄では村や故郷のことをシマというそうだが、これにも占有地の響きを感じられる。「嶋」は、島の古字であって海中の山に鳥が止まった形を表した漢字である。アホウドリが住むという南の小島では、繁殖期には島全体が真っ白になったというが、今では羽毛を採るため殺戮され全滅に近く、限度を知らぬ愚行が鵠(トキ)の二の舞を踏もうとしている。この鳥の名前はそんな愚鈍な人間を形容するに相応しいものようである。

◆美しい島では日本三景の「松島」が有名だ。それに肖ろうと〇〇松島と名付けた所がずいぶ

ん目に付くが、小松の生えた島は実に絵になるようだ。島に松を配した景色が美しいのは、風波に削られた島の表情に常緑の松が映え、情緒漂う美景が生まれるように思う。瀬戸内海も多島を誇り、大小の島陰への入り日の美しさは他に類がない。今、国を挙げて離島活性化が進められ、国民の保養所などが生まれつつあり、「島ルネッサンス」と呼ばれている。淡路島も架橋によって、人も物資も流れがスムーズになったようだが、大きく削られた跡地が従前以上に人工的な緑で飾られることが望ましい。

◆神社の祭礼では、細い縄を張り巡らし神社の領域を示すがこれもシマである。正月に玄関先につける飾りは、縄の簡略化されたものといわれ、神の領域を徴すシマと同類項のものだそう。カミサマは門松を指して降臨し、幸せを齎して下さるから、ココロから願いを込めて門松を立て飾りをしたものだが、最近はそのらは忘れ去られ正月風俗を見る影もない。神国と言われた筈の日本に、今ではシマの存在すら危ういのであるが、依り代となる門松くらは立てるべきだろう。信仰心に疎いながらも、余りに粗略に過ぎると天罰があるかも知れず…。(遊方子)

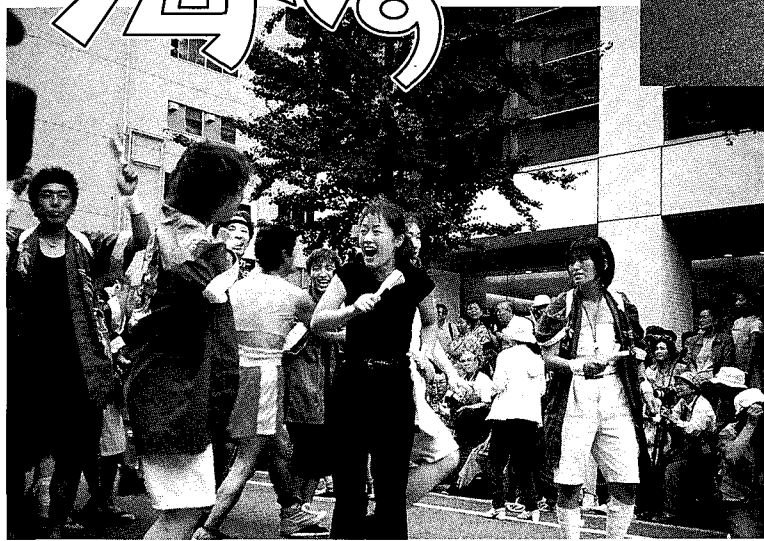
編集後記

- ◆残暑が厳しい。雨による増水の川で笑顔が暗転。遊びに行つての事故は痛ましい。水辺での悲しみは避けたいもの。海難もしかり。
- ◆今号の「水試ノート」は但馬沿岸のヒラメ資源の調査報告。こうした根気のいる研究に頭が下がる。今後の活躍を期待したいもの。
- ◆「普及員だより」は何度かタイトルを変更しながら、322号から連載の15年選手。水産業普及への地道な努力が、着々と実つているように思われる報告ばかり。愛読下さい。(遊)

テレビの あつた海です



『海を学びポーター』



『楽しく踊るミカチュー』



『バルーンアートの
ロバート・シュモックさんの
パレードの出で立ち』

【'99年8月29日放送

第1144回】

口々たより

夏の思い出『海の日』KOBE

〈神戸市より〉

地球の七割が海…水の惑星と呼ばれる私たちの地球。四方をその海で囲まれた小さな島国日本は海から色々な物を授かり、海を媒介として様々な産業や文化が発展して来ました。その海に感謝をする日を七月二十日と決められたのは昭和十六年（一九四一）のことでした。七月二十日と決められたのは、明治天皇が明治九年、東北へ巡幸の帰途、灯台視察船『明治丸』で青森から函館を経て横浜にご安着された日に由来しています。祝日にしようと言う運動が始まったのは昭和三十四年。国民的祝日に定められたのは…それから何と四十年後の平成八年のことです。

海に感謝、海で働く人々の功績に感謝する海の日。神戸市でも恒例の『神戸まつり』を平成八年から『海の日』七月二十日を中心に開催することとなりました。港町神戸では、全国的に不況に見舞われた昭和七年、アメリカ力のオレゴン州ポートランド市のローズパレードにヒントを得て、神戸の市場を回復するため『神戸みなとの祭』として祭りの開催を決定。昭和八年兵庫港開港日（十一月七日）に近い十月七日に第1回神戸みなとの祭が開催されました。そして昭和四十六年（一九七一）年も活気溢れる祭り『神戸まつり』に…今年はその第二十九回目の祭りが華やかに開催されたのです。

『神戸まつり』は、京都の祇園祭・大阪の天神祭りと並んで京阪神三天夏祭りの一つとして毎年二百万人もの人出で賑わう港町神戸の夏の一大イベントです。七月十七日から二十日までの四日間神戸は熱気が熱気がスパークしました。十七日のプロムナードコンサートを皮切りに、約二千三百発もの花火が海上から夜空を彩り祭りの幕を開けました。十八日・十九日各地区でも市民手づくりの祭りや海祭りの海上祈願祭…神戸港湾労働者表彰等が行われ、二十日メインイベントは神戸まつりヨットレースで開幕しました。

メインフェスティバルの会場は市役所を中心とした通り、三時から今や『神戸まつり』の代名詞にもなったサンパフェステイバルが華やかに始まる。メインパレードも…パレードには今年の百三の団体が参加。今年の『神戸まつり』のテーマは海、テーマ展開の中心は空間アーティストのロバート・シュモックさんが手掛けた数々のバルーン。タコ・カニ・カメ・タツノオトシゴ…色々な魚たちの色とりどりのバルーンが町を飾りました。勿論パレードにも沢山のバルーンが登場。

パレードの最後近くに登場のバルーンアート『海のパラタイス』は十メートルはあるかと言う真つ赤なカニが登場…白い風船の泡まで飛び出すユーモラスなカニに大勢の見物客は拍手喝采…平成七年の阪神淡路大震災を神戸で体験したカナタ出身のロバート・シュモックさん、奥さんのカナタへ帰ろうの言葉にも、こんな時だから神戸に残って神戸が元気になることをしようと言った…その思いが爆発するよう素晴らしいパフォーマンスでした。

震災から四年余り…まだまだ色々な課題も山積みの神戸ですが、確実に元気になっている思いがした夏でもありました。今回は改めて港町神戸の港で働く人々、海がもたらされた物を二八八年の神戸港開港から百三十年…そして旧居留地が変換されて百年の今年…港あつての神戸を…『海の日』を考えてみました。

1999年9月10日発行 通巻515号
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金

〒652-2 神戸市兵庫区中之島2-21
0844

TEL 652-3444 定価80円 (本体76円)
FAX 671-6685